

# 高齢者等実態調査（若年者）

## 【調査票】

皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃から霧島市の市政運営にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

この調査は、若年者（40～64 歳）の方に対し、日常生活や保健福祉サービスに関する取組、今後の生活について御意見をうかがい、今後の高齢者に関する施策の基礎資料とするものです。

左上に記載した5桁の数字は、霧島市長寿・障害福祉課の管理する台帳と突合することにより、回答者の属性（年齢、性別、居住地区）を補完するためのものです。

アンケート調査結果は、全て統計的に処理されるものであり、個人を特定することはできません。また、本調査票に記入いただいた個人情報を本調査の目的以外に使用したり、個別の回答内容を公表したりすることではなく、本調査票は厳正な取り扱いのもとに管理することとしております。

このように、個人情報の取り扱いに配慮して調査を実施しますので、皆様の率直な御意見をお聞かせいただきますようお願いいたします。

令和5年1月

霧島市長 中重 真一

- 調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。
- 調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、

1月31日(火)までに投函してください。


記 入 日	令和      年      月      日
-------	-------------------------

霧島市 長寿・障害福祉課 長寿福祉グループ

☎ 0995-64-0704（直通）

## 記入に際してのお願い

1. この調査の対象者は、令和4年10月1日現在、40歳以上65歳未満の方です。
2. ご回答にあたってはご本人についてお答えいただきますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、一緒に回答されてもかまいません。
3. ご回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲んでください。
4. この調査についてのお問い合わせは表紙の連絡先までお願いいたします。
5. 調査票記入後は、3つ折りで同封の返信用封筒に入れてお送りください。
6. この調査はインターネットからもご回答いただけます。スマートフォンやタブレットから以下の二次元コードを読み取ってアクセスいただくか、パソコン等のウェブブラウザ（Google Chrome、safari、Microsoft Edge 等）に下記 URL を直接入力してください。

スマートフォン・タブレットはこちらから	パソコンのブラウザはこちらから
	<a href="https://forms.gle/KMNHH6b2WHtB3asn7">https://forms.gle/KMNHH6b2WHtB3asn7</a>

# 高齢者等実態調査（若年者調査）

問1 あなたの世帯の状況について、お尋ねします。（○は1つ）

1. 一人暮らし世帯（同居者なし）
2. 夫婦二人暮らし世帯
3. 夫婦と子ども（未婚）の世帯
4. その他の世帯（3世代同居、兄弟・親と同居、など）

## 日常生活の様子について、お尋ねします。

問2 あなたの現在のお住まいはどれに当てはまりますか。（○は1つ）

- |                 |           |             |
|-----------------|-----------|-------------|
| 1. 持家一戸建て       | 2. 借家一戸建て | 3. 分譲マンション  |
| 4. 公団・公社住宅      | 5. 県営住宅   | 6. 市町村営住宅   |
| 7. 賃貸マンション・アパート | 8. 社宅・官舎  | 9. 間借り・住み込み |
| 10. その他         |           |             |

問3 将来（高齢期）、あなたが希望する生活場所はどれに当てはまりますか。（○は1つ）

1. 現在の住居にずっと住み続けたい
2. 買い物や通院に便利な市街地に住居を買って（借りて）移り住みたい
3. 自然豊かで静かな環境の郊外に住居を買って（借りて）移り住みたい
4. 家族や親族、兄弟姉妹のところへ移り住みたい
5. 有料老人ホーム等へ移り住みたい
6. 高齢者対応の住宅やアパートに移り住みたい
7. 介護保険施設に入所したい
8. わからない

問4 あなたは、将来（高齢期）の生活に不安を感じますか。不安に感じることはどのようなことですか。（○はいくつでも）

1. 自分や配偶者の健康や病気のこと
2. 自分や配偶者が介護を必要とする状態になること
3. 頼れる人がいなくなり一人きりの暮らしになること
4. 生活費や老後の蓄えのこと
5. 家屋、土地・田畑やお墓などの財産管理や相続のこと
6. 家族・親族との人間関係のこと
7. 隣近所、友人との付き合いのこと
8. 子ども、孫などの将来のこと
9. だまされたり、犯罪に巻き込まれること
10. 社会の仕組み（法律、税、社会保障、金融制度）や人々の価値観が大きく変わってしまうこと
11. 不安は感じない

## ふだんの近所づきあいについて、お尋ねします。

問5 あなたのお住まいの地域には、地域のつながりがあると感じますか。(○は1つ)

- |           |          |            |         |
|-----------|----------|------------|---------|
| 1. とても感じる | 2. 少し感じる | 3. あまり感じない | 4. 感じない |
| 5. わからない  |          |            |         |

問6 この中に、あなたのお住まいの地域で行われていることがありますか。(○はいくつでも)

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1. 近隣同士でよく挨拶や立ち話をしている               |
| 2. 困ったときは近隣同士で助けあっている               |
| 3. 講や結（ゆい）など伝統的なつながりが残っている          |
| 4. 地域の回覧板・掲示板などがよく活用されている           |
| 5. 町内会・自治会・子ども会などの地縁団体の活動が活発に行われている |
| 6. 公民館や集会所など気軽に集まれる場所があり、よく利用されている  |
| 7. ボランティアやNPOの活動が活発に行われている          |
| 8. 行政が主催するイベントに住民が積極的に参加している        |
| 9. 学校等が実施している行事等に住民が積極的に参加している      |
| 10. 行われていることはない（よく知らない）             |

問7 あなたのお住まいの地域における、一人暮らしの高齢者や認知症の方など援護を要する世帯への安否確認や見守り活動の状況について、どのように感じますか。(○は1つ)

- |                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| 1. 十分に行われていると思う    | 2. どちらかといえば行われていると思う |
| 3. どちらかといえば不十分だと思う | 4. ほとんど行われていないと思う    |
| 5. わからない           |                      |

## 社会参加・生きがいについて、お尋ねします。

問8 あなたは、現在、どの程度「生きがい」を感じていますか。(○は1つ)

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 十分感じている   | 2. 多少感じている    |
| 3. あまり感じていない | 4. まったく感じていない |
| 5. わからない     |               |

問9 あなたが生きがいを感じるのはどんなときですか。(○はいくつでも)

- |                                |
|--------------------------------|
| 1. 仕事に打ち込んでいるとき                |
| 2. 趣味やスポーツ・レクリエーション活動に熱中しているとき |
| 3. 勉強や教養を高めるための活動に取り組んでいるとき    |
| 4. 夫婦団らんのとき                    |
| 5. 子どもや孫など家族との団らんのとき           |
| 6. 友人や知人と食事、雑談をしているとき          |
| 7. テレビを見たり、ラジオを聞いているとき         |
| 8. ボランティアや地域の活動をしているとき         |
| 9. 旅行に出かけたとき                   |
| 10. 生きがいを感じることはない              |
| 11. その他 ( )                    |

問10 あなたは、以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。  
(○はそれぞれ1つ)

	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い
(1) ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
(2) スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
(3) 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
(4) 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
(5) 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
(6) その他の団体や会	1	2	3	4	5	6

問 11 あなたは、以下のような活動(社会参加活動や仕事)をどのくらいの頻度でしていますか。  
(○はそれぞれ1つ)

	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い ( し て い な い )
(1) 見守りが必要な高齢者を支援する活動	1	2	3	4	5	6
(2) 介護が必要な高齢者を支援する活動	1	2	3	4	5	6
(3) 子どもを育てている親を支援する活動	1	2	3	4	5	6
(4) 地域の生活環境の改善(美化)活動	1	2	3	4	5	6
(5) 収入ある仕事	1	2	3	4	5	6

問 12 あなたのまわりの人の「たすけあい」についてうかがいます。以下についてあてはまるすべてに○をしてください。あてはまる人がいない場合は、「8. そのような人はいない」に○をつけてください。(○はそれぞれいくつでも)

	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない
(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人	1	2	3	4	5	6	7	8
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人	1	2	3	4	5	6	7	8
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人	1	2	3	4	5	6	7	8
(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人	1	2	3	4	5	6	7	8

**問 13 あなたは、家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手がありますか。いる場合には、相手は誰ですか。(○はいくつでも)**

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| 1. 自治会・町内会    | 2. 社会福祉協議会・民生委員 |
| 3. ケアマネジャー    | 4. 医師・歯科医師・看護師  |
| 5. 地域包括支援センター | 6. 保健所・保健センター   |
| 7. 役所・役場      | 8. その他          |
| 9. そのような人はいない |                 |

**問 14 あなたは、今後、ひとり暮らしで見守りが必要な高齢者や、介護が必要な高齢者を支援するための地域活動やボランティア活動などに参加していきたいと思いますか。(○は1つ)**

1. 積極的に参加していきたい
2. できるだけ参加していきたい
3. 機会があれば、参加してもよい
4. あまり参加したくない
5. 既に参加している

**問 15 地域のためのボランティア活動などに参加する上で、県や市町村はどのようなことに取り組む必要があると思いますか。(○は2つまで)**

1. 活動に関する情報をもっと提供する
2. 参加しやすい体制を整備する
3. 指導者の養成、活動者の確保のための機会を充実する
4. 施設を利用しやすくする
5. 活動のための施設を整備する
6. 活動者のための保険制度を普及する（ボランティア保険）
7. 資金的援助をする
8. 特にない
9. その他

## 就労について、お尋ねします。

問 16 あなたは、現在、収入を得られる仕事をしていますか。仕事をしている場合には、一般論として、何歳ぐらいまで収入のある仕事をするのがよいと思いますか。（○は1つ）

1. 60歳くらいまで
2. 65歳くらいまで
3. 70歳くらいまで
4. 75歳くらいまで
5. 80歳くらいまで
6. 働けるうちはいつまでも
7. 仕事をしていない

## 健康について、お尋ねします。

問 17 あなたは、普段、ご自分で健康だと思いますか。（○は1つ）

- |             |           |
|-------------|-----------|
| 1. とても健康    | 2. まあまあ健康 |
| 3. あまり健康でない | 4. 健康でない  |

## 介護保険について、お尋ねします。

介護保険料の基準額は、3年に1度見直します。お住まいの市町村全体でどの程度サービスが必要かによって決まります。（介護サービスを利用する人の割合が増えたり、1人当たりの利用額が増えたと、額は高くなります。）その上で、所得に応じて個々人の保険料額が決まります。

問 18 以上のことについてご存じでしたか。（○は1つ）

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 1. よく理解している   | 2. だいたい理解している  |
| 3. あまり理解していない | 4. ほとんど理解していない |
| 5. 分からない      |                |



**問 19** 今後も高齢化が進み、介護保険サービスのニーズはますます増えていくことが予想されますが、介護保険料とサービスの水準との関係について、あなたの考えにもっとも近いものはどれですか。(○は1つ)

1. 現在の介護保険サービス水準を維持するために必要な範囲内での介護保険料の引き上げであればやむを得ない
2. もっと介護保険サービスを充実するべきであり、そのために介護保険料が引き上げられてもやむを得ない
3. 介護保険料を現状維持又は引き下げることが重要であり、そのためには介護保険サービスが削減されてもやむを得ない
4. わからない

**問 20** あなたは、これまでに、両親や配偶者などの家族（同居、別居を問いません）の介護の経験がありますか。(○は1つ)

1. 介護の経験がある      —————>    問 21 へ
2. 介護の経験がない      —————>    問 24 へ

※問 20 で「1. 介護の経験がある」を選んだ方へお尋ねします。

**問 21** あなたは、これまでに、両親や配偶者などの家族（同居、別居を問いません）の介護を理由に、仕事を退職したり、休職したことがありますか。(○は1つ)

1. 仕事を退職した
  2. 仕事を休職した
  3. 仕事を休職したが介護が終わり復職した
- > 問 22 へ
4. 仕事を退職したり休職したりしたことはない      —————> 問 23 へ

※問 21 で「1.」「2.」「3.」を選んだ方へお尋ねします。

**問 22** 退職又は休職した年齢はいくつですか。(○はいくつでも)

1. 20～29歳
2. 30～39歳
3. 40～49歳
4. 50～59歳
5. 60歳～

**問 23** 子育てと親の介護が同時進行となる状態を表す言葉として『ダブルケア』という言葉がありますが、ダブルケアに直面したことがありますか。(○は1つ)

1. 現在、ダブルケアに直面している
2. 過去にダブルケアを経験している
3. 現在直面しており、過去にも経験がある
4. 数年前にダブルケアの状態になる可能性がある
5. ダブルケアに直面したことはない

**問 24** 将来（高齢期）、あなたが介護を受けることになった場合、どのような介護を受けたいですか。(○は1つ)

1. 自宅で家族中心の介護を受けたい
2. 自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせた介護を受けたい
3. 家族に依存せずに生活できるような介護サービスがあれば自宅で介護を受けたい

→問 25 へ

4. 有料老人ホームや高齢者向けの住宅に引っ越して介護を受けたい
5. 特別養護老人ホームなどの施設で介護を受けたい

→問 26 へ

※問 24 で「1.」「2.」「3.」のいずれかを選んだ方へお尋ねします。

**問 25** 「在宅で介護を受けたい」と思う理由は何ですか。(○は1つ)

1. 家族と一緒に過ごしたいから
2. 友人・知人がまわりにいるので離れたくないから
3. 住み慣れた家を離れたくないから
4. 介護施設や有料老人ホームなどに入所、入居したいが経済的に困難だから
5. 介護施設や有料老人ホームなどに入所、入居したいが、希望する施設に空きがないと思うから

**問 26** 今後、あなたが、仮に自宅で介護を受けることになった場合、誰に介護を頼みたいですか。(○は1つ)

- |                   |        |                 |
|-------------------|--------|-----------------|
| 1. 配偶者            | 2. 子ども | 3. 子どもの配偶者      |
| 4. 兄弟姉妹などの親族      | 5. 孫   | 6. ヘルパーなどの介護専門職 |
| 7. 頼める人・頼みたい人はいない |        | 8. その他          |
| 9. 分からない          |        |                 |

**問 27** あなたは、人生の最終段階の医療・療養について、ご家族等や医療介護関係者とあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うこと（アドバンス・ケア・プランニング＜ACP＞）について、どのくらい知っていますか。(○は1つ)

1. よく知っている
2. 聞いたことはあるがよく知らない
3. 知らない

**問 28 あなたは、ご自身の死が近い場合に受けたい医療・療養や受けたくない医療・療養について、ご家族等や医療介護関係者とどのくらい話し合ったことがありますか。(○は1つ)**

※「ご家族等」の中には、家族以外でも、自分が信頼して自分の医療・療養に関する方針を決めてほしいと思う人（友人・知人）を含みます。

1. 詳しく話し合っている
2. 一応話し合ったことがある
3. 全く話し合ったことがない

**問 29 あなたが最期を迎えたいと思う場所はどこですか。(○は1つ)**

- |                 |                     |
|-----------------|---------------------|
| 1. 病院などの医療施設    | 2. 自宅               |
| 3. 子どもの家        | 4. 兄弟姉妹など親族の家       |
| 5. 高齢者向けのケア付き住宅 | 6. 特別養護老人ホームなどの福祉施設 |
| 7. その他          | 8. わからない            |

**問 30 あなたは、ご自身の死が近い場合に受けたい医療・療養や、受けたくない医療・療養について、どのような情報源から情報を得たいと思いますか。(○はいくつでも)**

- |                  |            |            |              |
|------------------|------------|------------|--------------|
| 1. 新聞            | 2. 雑誌      | 3. 書籍      | 4. テレビ       |
| 5. ラジオ           | 6. インターネット | 7. 研修会や講演会 | 8. 医療機関・介護施設 |
| 9. 自治体（都道府県・市町村） | 10. その他（   |            | ）            |

## **介護予防への取組について、お尋ねします。**

「介護予防」とは、健康な生活を長く続け、介護を受ける状態にならないようにすること。また、介護が必要になった場合に、それ以上度合いが増さないように改善していくことをいいます。

**問 31 あなたは、「介護予防」という言葉を聞いたことがありますか。聞いたことがある場合に、どのような機会・場所で知りましたか。(○はいくつでも)**

- |                        |                 |
|------------------------|-----------------|
| 1. チラシ・パンフレット          | 2. 講演会          |
| 3. テレビ・ラジオ             | 4. 新聞・雑誌        |
| 5. 医療機関・薬局             | 6. 特定健康診査等の健診会場 |
| 7. 県や市町村、地域包括支援センターの取組 | 8. NPO法人の活動     |
| 9. 老人クラブの活動            | 10. 家族・友人・知人    |
| 11. その他                | 12. 聞いたことがない    |

**問 32 あなたは、将来（高齢期）、要介護状態にならないための運動や健康づくりについて、どのようなことに取り組んでみたいですか。（○はいくつでも）**

1. スポーツクラブ等で運動
2. 自宅や自宅周辺で手軽にできる運動や健康づくり
3. 転倒予防など、事故を避けるための知恵やコツを習得する
4. 食生活の改善
5. 歯みがきや義歯（入れ歯）の手入れ方法などを習得する
6. 認知症の予防についての知識を習得する
7. その他
8. 取り組んでみたいものは特にない

**問 33 あなたは、将来（高齢期）、要介護状態にならないための運動や健康づくりに実際に取り組んでいますか。（○はいくつでも）**

1. スポーツクラブ等で運動
2. 自宅や自宅周辺で手軽にできる運動や健康づくり
3. 転倒予防など、事故を避けるための知恵やコツを習得する
4. 食生活の改善
5. 歯みがきや義歯（入れ歯）の手入れ方法などを習得する
6. 認知症の予防についての知識を習得する
7. その他
8. 特に何もしていない

**問 34 介護予防のための取組について、今後、県や市町村において特にどのような取組に力を入れてほしいですか。（○はいくつでも）**

1. 運動・転倒予防に関すること  
（筋肉を使う運動、バランストレーニング、有酸素運動、ストレッチなど）
2. 栄養改善に関すること  
（低栄養状態や病気の予防のための食事内容や調理方法など）
3. 口腔機能向上に関すること  
（口腔の健康を保つための指導や摂食・嚥下機能（飲込み）など）
4. 閉じこもりの予防・支援に関すること  
（居宅に閉じこもりがちな人に対し、交流の場の提供や地域における趣味やボランティア活動などへの参加を促すこと）
5. 認知症の予防・支援に関すること  
（認知症予防に関心のある人や軽度の認知障害のある人に対し、認知機能訓練や趣味活動等のプログラムを行うことなど）
6. うつ病の予防・支援に関すること  
（心の健康相談や訪問による個別支援等を行うこと）

## 認知症について、お尋ねします。

問 35 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 36 あなたは、「認知症」について、不安なことや心配なことがありますか。不安なことや心配なことがある場合には、認知症についての不安や心配はどのようなことですか。  
(○はいくつでも)

- |   |
|---|
| 1. 自分のことで、最近「もの忘れ」があり認知症ではないかと心配である                             |
| 2. 家族のことで、最近「もの忘れ」が多くなるなど「おかしいな？」と感じるが、単なる「もの忘れ」なのか、認知症なのかわからない |
| 3. 自分や家族が認知症にならないか心配である   |
| 4. 心配事を相談したくてもどこに相談したらよいかわからない                                  |
| 5. 認知症になったときの対応や介護の仕方がわからない                                     |
| 6. その他  |
| 7. 不安なことや心配なことはない   |

問 37 あなたは、認知症の相談窓口を知っていますか。知っている場合に、どこの相談窓口を知っていますか。(○はいくつでも)

- |               |                |        |
|---------------|----------------|--------|
| 1. 地域包括支援センター | 2. 市町村         | 3. 保健所 |
| 4. 医療機関       | 5. 認知症疾患医療センター |        |
| 6. 認知症の人と家族の会 | 7. その他         |        |
| 8. 知らない       |                |        |

問 38 あなたは、もし認知症と思われる方が近くにいたら、どのように接したいと思いますか。  
(○はいくつでも)

- |                            |
|----------------------------|
| 1. ご家族に声をかけ相談にのる           |
| 2. 民生委員に相談する               |
| 3. 地域包括支援センターや市町村に相談する     |
| 4. どう接して良いかわからないので、特に何もしない |
| 5. 本人、家族が気の毒なのでそっとしておく     |
| 6. その他                     |

**問 39 あなたは、「若年性認知症」という言葉を聞いたことがありますか。聞いたことがある場合に、どのような機会・場所で知りましたか。(○はいくつでも)**

「若年性認知症」とは、65歳未満で発症する認知症をいいます。  
若年性認知症は、現役世代で発症し高齢者の認知症と比較して進行が早いため、親の介護や子育て等、患者本人の生活環境に大きく影響します。

- |                        |                 |
|------------------------|-----------------|
| 1. チラシ・パンフレット          | 2. 講演会          |
| 3. テレビ・ラジオ             | 4. 新聞・雑誌        |
| 5. 医療機関・薬局             | 6. 特定健康診査等の検診会場 |
| 7. 県や市町村、地域包括支援センターの取組 | 8. NPO法人の活動     |
| 9. 老人クラブの活動            | 10. 家族・友人・知人    |
| 11. 聞いたことがない           |                 |

**問 40 あなたは、認知症サポーターについて知っていますか。(○は1つ)**

「認知症サポーター」とは、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する応援者のことです。市町村や職域などで実施されている認知症サポーター養成講座の受講が必要となります。

1. 認知症サポーター養成講座を受けたことがある → 問 41 へ

2. 言葉は聞いたことがある

3. 聞いたことがない

→ 問 42 へ

※問 40 で「1. 認知症サポーター養成講座を受けたことがある」を選んだ方へお尋ねします。

**問 41 認知症サポーター養成講座を受講後に、どのような活動を行いましたか。(○はいくつでも)**

1. 認知症カフェ・サロンの開催または参加
2. 認知症の方や家族への声かけ
3. 地域の見守り活動への参加
4. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力
5. SOS ネットワーク等へ協力者としての登録
6. 通所施設、入居施設等の行事協力
7. 自分が働く店舗等へ来店する認知症の方への配慮
8. その他
9. 活動をしたことがない

## 高齢社会対策への取組について、お尋ねします。

問 42 高齢者が住み慣れた場所で安心して暮らしていける地域づくりに向けて、県や市町村は、特にどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(○は3つまで)

1. 高齢者の生きがいづくり・ボランティア活動など様々な社会活動への参加促進
2. 高齢者が生涯働き続けられる環境づくり（就労の場の確保、技術・技能・経験を活かした就労のあっせん、支援の仕組みづくり等）
3. 健康づくり、介護予防や認知症予防のための取組
4. 在宅での生活を続けられるような多様な福祉サービスや介護サービスの整備
5. 特別養護老人ホームなどの施設サービスの整備
6. 地域における見守り活動の促進
7. 成年後見制度や高齢者虐待防止など高齢者の権利擁護
8. 高齢者に対する犯罪（窃盗、詐欺等）や交通事故防止の対策
9. 高齢者の身体が不自由になっても生活できる住宅の整備
10. 高齢者の外出・利用に配慮した公共交通機関の整備や公共施設等（道路を含む）におけるバリアフリー化

## 生活支援サービスについて、お尋ねします。

問 43 次の生活支援サービスのうち、地域の方のためになるなら、有償ボランティアとして手伝ってもいいと思うものはなんですか。(○はいくつでも)

- |                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| 1. 草むしり、花木の水やり     | 2. ペットの世話            |
| 3. 病院や買い物時の送迎・付き添い | 4. 家具・電化製品等の簡単な移動・修繕 |
| 5. 話し相手            | 6. 料理の補助             |
| 7. 掃除・選択・ふとん干し     | 8. お墓の手入れ            |
| 9. ゴミだし            | 10. 電球の交換            |

## 成年後見制度について、お尋ねします。

問 44 成年後見制度について聞いたことがありますか。(○は1つ)

1. 聞いたことがあるし、その意味を知っている
2. 聞いたことがあるが、その意味はわからない
3. 聞いたことがない

問 45 成年後見センターを知っていますか。(○は1つ)

1. 知っているし、その仕事を知っている
2. 知っているが、その仕事はわからない
3. 知らない

問 46 入院や施設入所の時に手続きをしてくれたり、身元引受人になってくれる方はいますか。  
(○は1つ)

1. いる

2. いない → 問 47 へ

※問 46 で「2. いない」を選んだ方へお尋ねします。

問 47 葬式など死後の不安がありますか。(○は1つ)

1. ある

2. ない

## 認知症施策について、お尋ねします。

問 48 高齢になっても自分のことを伝えるための「私のアルバム」を知っていますか。  
(○は1つ)

「私のアルバム」とは、自分の人生を振り返り、これからの生活を考えるための冊子です。  
支援が必要になったときに活用できるように作成を推奨しています。

1. 知っている

2. 知らない

問 49 みまもりあいアプリを知っていますか。(○は1つ)

「みまもりあいアプリ」は、スマートフォンに無料で登録でき、認知症の方など自宅に帰れない方の搜索の情報を、登録者に対し配信して、早期の保護に役立てるものです。

1. 知っていて、登録している

2. 知っているが、登録していない

3. 知らない

**調査は以上です。**

**たくさんの質問にお答えいただき、**

**ありがとうございました。**

**返信用封筒に入れ、1月31日(火)まで**  
**に必ずご返送ください。**

**※切手は不要ですので、そのまま投函してください。**

